

## 教育研究評議会（令和6年度第9回）議事要旨

1. 日 時 令和6年12月17日（火）13:30～14:52
2. 場 所 オンライン会議
3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）  
（Webex）加藤、太田、小谷、土井、西村の各評議員（理事）  
廣田、安本、別所、出村、細川、井上、河合、浦岡、船津、種池、井村の各評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、有賀、東の各課長  
（Webex） 元平部長  
石井、久保、田中、多田の各課長

### （配付資料一覧）

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 資料1   | 教育研究評議会（令和6年度第8回）議事要旨（案）       |
| 資料2   | 奈良先端科学技術大学院大学研究生規程の一部改正について    |
| 資料3-1 | 教員人事について（審議）                   |
| 資料3-2 | 教員選考結果報告書                      |
| 資料3-3 | 教員選考結果報告書                      |
| 資料4-1 | 海外機関との学術交流協定の締結等について           |
| 資料4-2 | 学術交流協定更新計画書                    |
| 資料4-3 | 学術交流協定更新計画書                    |
| 資料4-4 | 学術交流協定更新計画書                    |
| 資料5   | ダブル・ディグリー・プログラムの終結について         |
| 資料6   | 教員人事について（報告）                   |
| 資料7   | 令和6年度補正予算の編成について               |
| 資料8   | 財政シミュレーションの概要（2024年12月時点）      |
| 資料9   | 国立大学法人運営費交付金「ミッション実現戦略分」について   |
| 資料10  | 令和6年度重点戦略経費＜第二次＞配分             |
| 資料11  | 令和6年度ホームカミングデーの実施状況について        |
| 資料12  | ナイスポ！ NAIST EXPO 2024の参加者数について |
| 資料13  | 賀詞交歓会の開催について（通知）               |
| 資料14  | 令和6年度会計検査院実地検査の実施について          |

## 4. 議 事

### （前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、令和6年度第8回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

### （審議事項）

- （1）奈良先端科学技術大学院大学研究生規程の一部改正について  
東国際課長から、資料2に基づき、奈良先端科学技術大学院大学研究生規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- （2）教員人事について  
議長から、資料3-1～3に基づき、教員人事（准教授への昇任2件）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(3) 海外機関との学術交流協定の締結等について

東国際課長から、資料4-1～4に基づき、海外機関との学術交流協定の締結等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(4) 海外機関とのダブルディグリープログラムの締結等について

太田理事から、資料5に基づき、海外機関とのダブルディグリープログラムの締結等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(報告事項)

(1) 教員人事について

議長から、資料6に基づき、教員人事（特任助教の採用1件）について、報告があった。

(2) 令和6年度補正予算の編成について

有賀会計課長から、資料7に基づき、令和6年度補正予算の編成について、報告があった。

(3) 財政シミュレーションの概要について

有賀会計課長から、資料8に基づき、財政シミュレーションの概要について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

・2025年度以降、施設・設備整備費の支出が増額されているが、どのような使用予定があるのか。

→現在の財政シミュレーションには、設備整備推進室からの照会に対して各部局から要求があったシステムや研究設備関係の金額をそのまま反映している。今後、実際に各年度の予算編成を行う際には、他予算も含めて要求内容を精査する。

(4) 国立大学法人運営費交付金「ミッション実現戦略分」について

有賀会計課長から、資料9に基づき、国立大学法人運営費交付金「ミッション実現戦略分」について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

・将来的、潜在的なインパクトは評価対象外であるということは、素晴らしい研究であっても、現時点で社会的インパクトの成果が出ていないものは対象外ということか。

→そのとおりである。期間内に社会的インパクトが発現しているものが対象となる。

・提出するケーススタディを工夫し、しっかりアピールしていただきたい。

・ケーススタディはどのように情報収集されるのか。

→事務局からメールで照会を行い、各部局から幅広く候補を出していただく。その後、提出された候補の内容を精査、フォローアップを行ったうえで、有力な候補については、大学としてミッション実現戦略分から重点的な予算配分を行い、支援を行うことを検討していく。

・各部局での検討期間はどれくらいあるのか。

→令和7年1月17日を締切として考えている。

(5) 令和6年度重点戦略経費（第二次）について

有賀会計課長から、資料10に基づき、令和6年度重点戦略経費（第二次）について、報告があった。

(6) 令和6年度ホームカミングデーの実施状況について

議長から、資料11に基づき、令和6年度ホームカミングデーの実施状況について、報告があった。

(その他)

(1) 「ナイスポ！ NAIST EXPO 2024」の参加者数について

元平管理部長から、資料12に基づき、「ナイスポ！ NAIST EXPO 2024」の参加者数について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

・土曜日に授業がある学校もあるため、さらに参加者/来場者数を増やすならば、日曜日に開催することも1つの選択肢ではないか。

(2) 令和7年賀詞交歓会の開催について

元平管理部長から、資料13に基づき、令和7年賀詞交歓会の開催について、案内があった。

(3) 令和6年度会計検査院実地検査の実施について

井村監査室長から、資料14に基づき、令和6年度会計検査院実地検査の実施について、協力依頼があった。

以 上